



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニュースレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流



第70回国際交流セミナー
(2頁参照)

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けます。また、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究、学会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。

年度	2014	2015	2016	2017	2018
外国人研究員 (客員教授・准教授)	5	5	5	6	4
招聘外国人学者	7	3	1	8	3
外国人共同研究者	1	3	2	4	10

表1 外国人研究者受入れ数(渡日時年度) (人)

2018年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです(名前の中の()内は国籍/所属・身分)。

外国人研究員(客員教授・准教授)

(以下4人の先生方については2頁で詳しく紹介していますので、そちらをご覧ください)

- ・劉剛先生(中国/武漢工程大学教授)
- ・Ali Qleibo先生(エルサレム/アル＝クドゥス大学教授、アーティスト)
- ・Paolo Hertier先生(イタリア/東ピエモンテ大学教授)
- ・Alberto Bianco先生(フランス/細胞分子生物学研究所主任研究員)

招聘外国人学者

- ・Pascal Maquinay先生(ベルギー/リエージュ大学特任講師)
- ・Jarnuzi Gunlazuardi先生(インドネシア/インドネシア大学上級講師)
- ・William Puck Brecher先生(米国/ワシントン州立大学准教授)

外国人共同研究者

- ・許健博士(中国/人環JSPS特別研究員)
- ・Roman Morozov博士(ロシア/南ウラル大学技術研究員)
- ・Luis Felipe Garay Rodoriguez氏(メキシコ/ヌエボ・レオン自治大学博士課程学生)
- ・Jose Ricardo Aguilar Cosme氏(メキシコ/シェフィールド大学博士課程学生)
- ・Francesco Campagnola先生(スイス/ヘント大学講師)
- ・Meysam Tayyebi氏(イラン/蔚山大学博士過程学生)
- ・Agnes Giard先生(フランス/パリナンテール大学助教)
- ・Ni Wayan Yuningrat氏(インドネシア/インドネシア大学博士課程学生)
- ・張波博士(中国/延辺大学人文社会科学学院)
- ・Afif Zulfikar Pamungkas氏(インドネシア/インドネシア大学学生)

国際交流セミナー

人間・環境学研究科では、常時1名ないし2名の外国人研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第67回 2018年4月20日

演者 Lester Loschky（レスター・ロシュキー）先生

米国／カンサス州立大学教授

演題 How is a movie viewers' understanding related to how they watch a movie?



第68回 2018年5月10日

演者 謝峰（Xie Feng）先生

中国／中国科学院大学成都生物研究所教授

演題 中国に生息する両生類の多様性と危機的状況

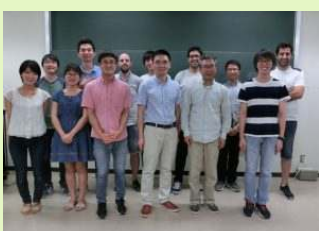
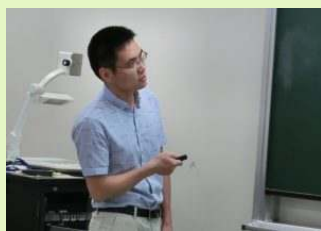


第69回 2018年8月2日

演者 劉剛（Liu Gang）先生

中国／武漢工程大学教授

演題 中国の文化とライフスタイル：武漢での生活紹介



第70回 2019年1月15日

演者 Ali Qleibo（アリ・クレイボ）先生

エルサレム／アル＝クドゥス大学教授

演題 Jerusalem in Kyoto: Similarities and Differences between Two Ancient Cities

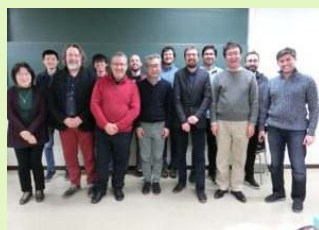


第71回 2019年2月15日

演者 Alberto Bianco（アルベルト・ビアンコ）先生

フランス／細胞分子生物学研究所主任研究員

演題 A Cultural Journey between Italy and France



外国人留学生

人間・環境学研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では2018年5月1日現在、2,474名の留学生が在学していましたが、そのうち163名が本研究科で学んでいました（表2参照）。これは本研究科の全在学学生676名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生を含む）の約24%に当たり、また、その出身地は18の国及び地域に及んでいます（表3参照）。

1991年4月の研究科創設から2019年3月までの間に、141名の留学生が博士の学位を取得しました。

表2 外国人留学生人数
(各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ)

年度	留学生数
2014	99人
2015	119人
2016	145人
2017	146人
2018	163人

表3 留学生出身国地域別人数
(2018年5月1日現在)

中国	126	台湾	8	韓国	7
米国	5	ロシア	3	ニュージーランド	2
イタリア	1	ウクライナ	1	英国	1
カナダ	1	シンガポール	1	トルコ	1
ハンガリー	1	ブラジル	1	ベトナム	1
モンゴル	1	ラトビア	1	ルーマニア	1

計163

留学生オリエンテーション

年度初めには、新入留学生対象のオリエンテーションと歓迎懇親会を実施しました。2019年度より、懇親会は部局全体の歓迎会として実施されます。（写真は2018年度のオリエンテーション／懇親会の様子）



留学生企画

本研究科では毎年「11月祭」の休講日を利用して、一泊二日の留学生見学旅行を実施してきました。（写真は2018年度留学生見学旅行から）



加賀伝統工芸村で九谷焼絵付け体験 千里浜なぎさドライブウェイ



旅館の大広間で食事



旅館の前で



兼六園で



兼六園の美しい紅葉

学生の海外留学

海外留学には、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学国際教育交流課発行「海外留学の手引」を参考にしてください）。以下、2019年1月現在留学中の3人をご紹介します（説明は、氏名、所属講座、留学先の所属・身分、研究テーマ、奨学金等、留学期間）。

岡部亜美さん（言語科学講座・博士後期課程3年生）

オランダ／ライデン大学言語学研究所／
博士後期課程学生
オランダ語とドイツ語の言語学的対照研究
本庄国際奨学財団奨学金（2017年9月-2021年8月）



ライデンの街並み



カーニバルで仮装（左より2人目）



研究所の学生のパーティー



現地の日本人会で研究発表

森江建斗さん（現代文明論講座・修士課程1年生）

連合王国／London School of Economics and Political Science (LSE)／正規修士生
国際関係論、文化外交史
トビタテ留学JAPAN（2018年9月-2019年9月）



LSEのOld Buildingの入口



LSE図書館の内部



通学バスの2階席からの風景



フロイト博物館前にて

橋本鈴世さん（人間社会論講座・博士後期課程3年生）

イタリア／フィレンツェ大学附属語学学校／学生／イタリアにおけるインクルーシブ教育
私費（2018年4月-2020年3月）



語学学校の友人と



語学学校の授業



ポンテ・ヴェッキオを背景に



調査を行なった小学校での
折り紙の授業

◇URL

<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/>→人間・環境学研究科案内→国際交流

◇問い合わせ先

*国際交流委員／留学生アドバイザー 藤田糸子
Phone: 075-753-6868
Email: fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp

*京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

